

08

Chapter

データセクション

Chapter 08 | CONTENTS

- 104 財務分析と評価
- 105 連結財務諸表等
- 109 11年間の財務データ
- 111 財務ハイライト
- 112 5年間の非財務データ
- 113 非財務ハイライト
- 114 社外からの評価
- 115 会社概要
- 116 第三者保証／管掌役員保証



財務分析と評価

連結経営成績・業績概況

売上高

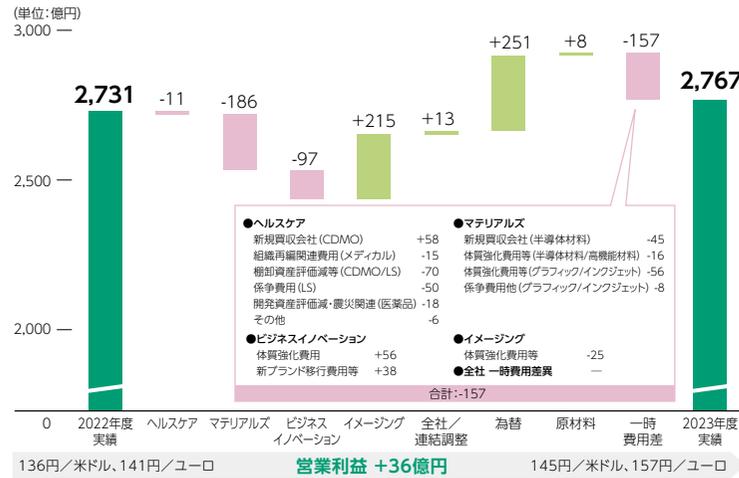
ヘルスケア部門のメディカルシステム、イメージング部門などを中心に伸ばし、前年比3.6%増の2兆9,609億円を達成

営業利益

増収に伴う増益と為替影響などにより前年比1.3%増で過去最高益の2,767億円を達成

当社株主帰属当期純利益

上記が寄与し、前年比11.0%増で過去最高益の2,435億円を達成



単位: 億円	2022年度	2023年度	対前年度	2024年度(予想)	対前年度
売上高	28,590	29,609	1,019	31,500	1,891
営業利益	2,731	2,767	36	3,150	383
営業利益率	9.6%	9.3%	-0.3pt	10.0%	+0.7pt
税金等調整前当期純利益	2,822	3,173	351	3,300	127
当社株主帰属当期純利益	2,194	2,435	241	2,500	65
1株当たり当社株主帰属当期純利益*	182.40円	202.29円	19.89円	207.63円	+5.34円
ROE	8.3%	8.2%	-0.1pt	7.8%	-0.4pt
ROIC	6.1%	5.6%	-0.5pt	5.4%	-0.2pt
CCC	125日	116日	-9日	115日	-1日
為替レート(米ドル)	136円	145円	9円安	148円	3円安
為替レート(ユーロ)	141円	157円	16円安	162円	5円安

*当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき、3株の割合で株式分割を行っています。1株当たり当社株主帰属当期純利益は、株式分割後に換算した値で表示しています。

連結財政状態の分析

総資産

有形固定資産の増加などにより、前年度末比6,492億円増加し4兆7,835億円

負債

負債は前年度末比2,638億円増の1兆6,102億円

純資産

純資産は前年度末比3,854億円増加し、3兆1,733億円

単位: 億円	2021年度	2022年度	2023年度	対前年度
現金及び現金同等物	4,863	2,686	1,797	-889
受取債権	5,986	6,331	6,966	635
棚卸資産	5,045	5,673	5,478	-195
其他流動資産	1,353	1,621	1,506	-115
流動資産計	17,247	16,311	15,747	-564
有形固定資産	7,368	9,761	13,957	4,196
営業権	8,240	8,583	9,538	955
其他固定資産	6,698	6,688	8,593	1,905
固定資産計	22,306	25,032	32,088	7,056
資産合計	39,553	41,343	47,835	6,492
長短社債及び借入金	4,472	3,762	5,028	1,266
支払債務	3,032	3,204	3,465	261
其他流動・固定負債	6,800	6,498	7,609	1,111
負債計	14,304	13,464	16,102	2,638
株主資本計	25,027	27,631	31,692	4,061
非支配持分	222	248	41	-207
純資産計	25,249	27,879	31,733	3,854
負債・純資産合計	39,553	41,343	47,835	6,492

連結キャッシュ・フローの分析

営業キャッシュ・フロー

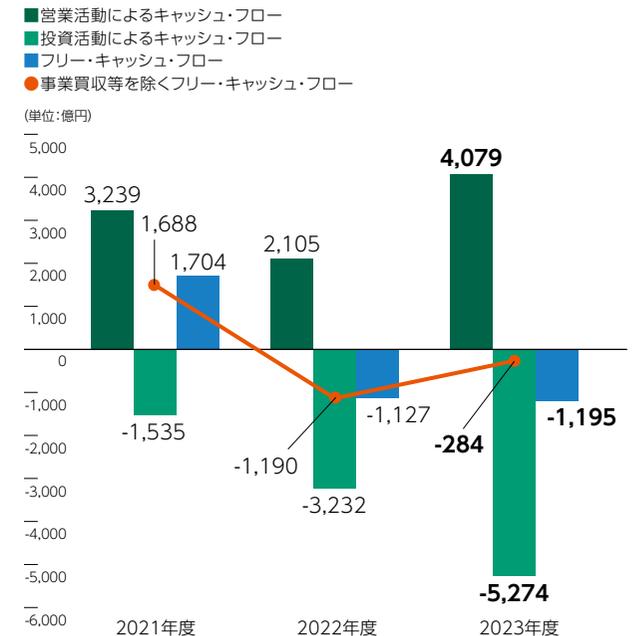
棚卸資産の減少などにより4,079億円の収入

投資キャッシュ・フロー

有形固定資産の購入などにより、5,274億円の支出

フリー・キャッシュ・フロー

上記の結果、1,195億円の支出
事業買収などを除き284億円の支出



連結財務諸表等

連結損益計算書

単位:百万円	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	2,525,773	2,859,041	2,960,916
売上原価	1,492,549	1,721,113	1,774,656
売上総利益	1,033,224	1,137,928	1,186,260
営業費用			
販売費及び一般管理費	652,995	710,702	752,427
研究開発費	150,527	154,147	157,108
営業利益	229,702	273,079	276,725
営業外収益及び(費用)			
受取利息及び配当金	4,646	7,670	12,226
支払利息	(2,316)	(5,006)	(8,483)
為替差損益・純額	4,437	(3,563)	2,702
持分証券に関する損益・純額	4,453	(662)	24,675
その他損益・純額	19,524	10,706	9,443
税金等調整前当期純利益	260,446	282,224	317,288
法人税等			
法人税・住民税及び事業税	48,615	79,168	79,809
法人税等調整額	8,514	(13,962)	(1,707)
持分法による投資損益	13,128	4,656	4,111
当期純利益	216,445	221,674	243,297
控除:非支配持分帰属損益	(5,265)	(2,252)	212
当社株主帰属当期純利益	211,180	219,422	243,509

単位:円	2021年度	2022年度	2023年度
1株当たり金額*			
当社株主帰属当期純利益	175.78	182.40	202.29
希薄化後当社株主帰属当期純利益	175.37	182.14	202.05
配当金	36.67	43.33	50.00

※当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき、3株の割合で株式分割を行っています。1株当たり金額については、株式分割後に換算した値で表示しています。

連結包括利益計算書

単位:百万円	2021年度	2022年度	2023年度
当期純利益	216,445	221,674	243,297
その他の包括利益(損失)―税効果調整後			
有価証券未実現損益変動額	26	(27)	—
為替換算調整額	117,466	85,528	227,828
年金負債調整額	13,381	2,801	48,189
デリバティブ未実現損益変動額	(182)	74	(122)
その他の包括利益(損失)合計	130,691	88,376	275,895
当期包括利益	347,136	310,050	519,192
控除:非支配持分帰属当期包括損益	(7,127)	(2,801)	4,116
当社株主帰属当期包括利益	340,009	307,249	523,308

▶ 連結財務諸表等

連結貸借対照表

単位：百万円	2022年度	2023年度
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	268,608	179,715
受取債権		
営業債権及びリース債権	648,683	713,360
関連会社等に対する債権	2,561	2,397
貸倒引当金	(18,193)	—
信用損失引当金	—	(19,172)
棚卸資産	567,302	547,803
前払費用及びその他の流動資産	162,146	150,525
流動資産 合計	1,631,107	1,574,628
投資及び長期債権		
関連会社等に対する投資及び貸付金	42,921	40,771
投資有価証券	70,745	83,458
長期リース債権及びその他の長期債権	77,590	85,833
貸倒引当金	(2,351)	—
信用損失引当金	—	(2,185)
投資及び長期債権 合計	188,905	207,877
有形固定資産		
土地	105,923	113,350
建物及び構築物	770,926	818,610
機械装置及びその他の有形固定資産	1,505,008	1,611,452
建設仮勘定	345,253	685,176
	2,727,110	3,228,588
減価償却累計額	(1,750,999)	(1,832,853)
有形固定資産 合計	976,111	1,395,735
その他の資産		
オペレーティング・リース使用权資産	82,276	100,094
営業権	858,311	953,835
その他の無形固定資産	144,258	178,335
繰延税金資産	30,125	38,815
その他	223,218	334,141
その他の資産 合計	1,338,188	1,605,220
資産 合計	4,134,311	4,783,460

単位：百万円	2022年度	2023年度
負債の部		
流動負債		
社債及び短期借入金	106,093	317,103
支払債権		
営業債務	246,093	262,752
設備関係債務	72,713	82,421
関連会社等に対する債務	1,603	1,305
未払法人税等	39,214	47,947
未払費用	234,809	251,205
短期オペレーティング・リース負債	31,031	32,589
その他の流動負債	158,766	170,519
流動負債 合計	890,322	1,165,841
固定負債		
社債及び長期借入金	270,060	185,716
退職給付引当金	21,909	21,055
長期オペレーティング・リース負債	55,400	72,223
繰延税金負債	49,150	90,747
その他の固定負債	59,610	74,563
固定負債 合計	456,129	444,304
負債 合計	1,346,451	1,610,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,363	40,363
普通株式		
発行可能株式総数: 800,000,000株		
発行済株式総数: 414,625,728株		
利益剰余金	2,616,191	2,741,416
その他の包括利益(損失)累積額	163,820	443,619
自己株式		
2023年3月期: 13,528,181株	(57,229)	
2024年3月期: 13,269,764株		(56,151)
株主資本 合計	2,763,145	3,169,247
非支配持分	24,715	4,068
純資産 合計	2,787,860	3,173,315
負債・純資産 合計	4,134,311	4,783,460

▶ 連結財務諸表等

連結資本勘定計算書

単位:百万円	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の包括利益 (損失)累積額	自己株式	株主資本	非支配持分	純資産合計
2021年3月31日 現在残高	40,363		2,702,760	(52,836)	(485,721)	2,204,566	17,591	2,222,157
包括利益(損失)								
当期純利益			211,180			211,180	5,265	216,445
有価証券未実現損益 変動額				26		26		26
為替換算調整額				115,727		115,727	1,739	117,466
年金負債調整額				13,258		13,258	123	13,381
デリバティブ未実現 損益変動額				(182)		(182)		(182)
包括利益						340,009	7,127	347,136
自己株式取得					(32)	(32)		(32)
自己株式売却				(42)	4,206	4,164		4,164
当社株主への配当金			(44,086)			(44,086)		(44,086)
非支配持分への配当金							(783)	(783)
株式報酬取引		(1,922)				(1,922)		(1,922)
利益剰余金から資本剰 余金への振替		1,964	(1,964)					
非支配持分との資本取 引及びその他			(42)			(42)	(1,652)	(1,694)
2022年3月31日 現在残高	40,363		2,867,848	75,993	(481,547)	2,502,657	22,283	2,524,940
包括利益(損失)								
当期純利益			219,422			219,422	2,252	221,674
有価証券未実現損益 変動額				(27)		(27)		(27)
為替換算調整額				84,193		84,193	1,335	85,528
年金負債調整額				3,587		3,587	(786)	2,801
デリバティブ未実現 損益変動額				74		74		74
包括利益						307,249	2,801	310,050
自己株式取得					(20)	(20)		(20)
自己株式売却			317		1,308	1,625		1,625
自己株式消却		(423,030)			423,030			
当社株主への配当金			(48,131)			(48,131)		(48,131)
非支配持分への配当金							(382)	(382)
株式報酬取引		(235)				(235)		(235)
利益剰余金から資本剰 余金への振替		422,948	(422,948)					
非支配持分との資本取 引及びその他							13	13
2023年3月31日 現在残高	40,363		2,616,191	163,820	(57,229)	2,763,145	24,715	2,787,860

単位:百万円	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の包括利益 (損失)累積額	自己株式	株主資本	非支配持分	純資産合計
2023年3月31日 現在残高	40,363		2,616,191	163,820	(57,229)	2,763,145	24,715	2,787,860
会計基準アップデート 2016-13適用による累 積影響額			(234)			(234)		(234)
包括利益(損失)								
当期純利益			243,509			243,509	(212)	243,297
為替換算調整額				232,225		232,225	(4,397)	227,828
年金負債調整額				47,696		47,696	493	48,189
デリバティブ未実現 損益包括利益				(122)		(122)		(122)
自己株式取得					(31)	(31)		(31)
自己株式売却		551			1,109	1,660		1,660
当社株主への配当金			(60,201)			(60,201)		(60,201)
非支配持分への配当金							(12,577)	(12,577)
株式報酬取引		(464)				(464)		(464)
利益剰余金から資本剰 余金への振替		53,838	(53,838)					
非支配持分との資本取 引及びその他		(53,925)	(4,011)			(57,936)	(3,954)	(61,890)
2024年3月31日 現在残高	40,363	—	2,741,416	443,619	(56,151)	3,169,247	4,068	3,173,315

▶ 連結財務諸表等

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円	2021年度	2022年度	2023年度
営業活動によるキャッシュ・フロー			
当期純利益	216,445	221,674	243,297
営業活動により増加した純キャッシュへの調整			
減価償却費	132,999	142,215	150,014
持分証券に関する損益	(4,453)	662	(24,675)
法人税等調整額	8,514	(13,962)	(1,707)
持分法による投資損益(受取配当金控除後)	(12,194)	(3,994)	(3,469)
資産及び負債の増減			
受取債権の(増加)減少	34,741	(17,052)	(21,157)
棚卸資産の(増加)減少	(68,273)	(51,545)	62,023
営業債務の増加(減少)	21,007	(9,221)	3,382
前払費用及びその他の流動資産の(増加)減少	(30,766)	(14,349)	6,512
未払法人税等及びその他負債の増加(減少)	28,794	(51,712)	4,341
その他	(2,880)	7,736	(10,620)
営業活動によるキャッシュ・フロー	323,934	210,452	407,941
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の購入	(126,054)	(269,844)	(417,966)
ソフトウェアの購入	(39,853)	(53,628)	(46,746)
投資有価証券の売却・満期償還	15,119	38,890	13,443
投資有価証券の購入	(2,860)	(3,880)	(729)
定期預金の(増加)減少(純額)	(4,959)	2,711	945
関係会社投融資及びその他貸付金の増加	(459)	(853)	(343)
事業の買収(買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)	(10,714)	(28,653)	(103,849)
事業の売却(処分した現金及び現金同等物の控除後)	24,480	—	12,416
その他	(8,242)	(7,968)	15,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	(153,542)	(323,225)	(527,416)

単位：百万円	2021年度	2022年度	2023年度
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期債務による調達額	2,079	120,000	—
長期債務の返済額	(61,929)	(192,360)	(104,561)
満期日が3か月以内の短期債務の増加(減少)(純額)	2,364	(1,538)	229,062
親会社による配当金支払額	(43,032)	(46,109)	(56,170)
非支配持分への配当金支払額	(783)	(382)	(12,577)
自己株式の取得及び売却	(31)	(20)	(31)
非支配持分との資本取引その他	(3,852)	(3,286)	(56,185)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(105,184)	(123,695)	(462)
為替変動による現金及び現金同等物への影響			
	26,325	18,748	31,044
現金及び現金同等物純増加(純減少)	91,533	(217,720)	(88,893)
現金及び現金同等物期首残高	394,795	486,328	268,608
現金及び現金同等物期末残高	486,328	268,608	179,715
補足情報			
支払額:			
利息	2,519	5,093	8,483
法人税等	61,780	75,205	65,673

11年間の財務データ

(単位:百万円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 ^{*2}	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高											
国内	1,025,256	1,006,533	983,703	962,711	1,006,512	1,006,536	1,004,076	927,910	991,885	1,026,295	1,049,550
海外	1,392,839	1,456,854	1,476,680	1,359,452	1,426,853	1,424,953	1,311,065	1,264,609	1,533,888	1,832,746	1,911,366
合計	2,418,095	2,463,387	2,460,383	2,322,163	2,433,365	2,431,489	2,315,141	2,192,519	2,525,773	2,859,041	2,960,916
営業利益	128,461	164,415	180,626	172,281	123,329	209,827	186,570	165,473	229,702	273,079	276,725
受取利息及び配当金	6,219	5,858	6,206	5,404	6,262	4,787	5,183	3,884	4,646	7,670	12,226
支払利息	(4,183)	(4,569)	(4,376)	(4,795)	(4,570)	(3,314)	(2,316)	(2,578)	(2,316)	(5,006)	(8,483)
税金等調整前当期純利益	144,740	188,966	182,242	194,775	197,807	212,762	173,071	235,870	260,446	282,224	317,288
当社株主帰属当期純利益	71,558	110,940	116,402	131,506	140,694	138,106	124,987	181,205	211,180	219,422	243,509
設備投資額 ^{*1}	67,004	56,127	74,143	71,805	67,483	75,372	85,692	100,883	155,230	288,306	422,073
減価償却費(有形固定資産のみ) ^{*1}	90,950	65,294	65,831	58,870	66,526	70,868	68,619	69,152	74,583	78,253	84,386
研究開発費	165,245	160,281	163,027	160,232	167,940	156,132	157,880	152,150	150,527	154,147	157,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	296,589	267,778	223,479	288,619	261,152	249,343	255,667	420,861	323,934	210,452	407,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	(129,535)	(124,555)	(157,320)	(116,439)	(111,786)	(208,585)	(244,850)	(279,381)	(153,542)	(323,225)	(527,416)
フリー・キャッシュ・フロー	167,054	143,223	66,159	172,180	149,366	40,758	10,817	141,480	170,392	(112,773)	(119,475)
支払配当金	24,097	28,929	29,737	30,845	32,526	33,403	38,432	39,979	44,086	52,142	60,201
自己株式取得金額	23	62	150,050	50,022	50,024	100,018	51,624	20	32	20	31
財務状態(単位:百万円)											
総資産	3,191,847	3,501,950	3,311,970	3,533,189	3,492,940	3,414,692	3,321,692	3,549,203	3,955,280	4,134,311	4,783,460
社債及び借入金	359,699	349,689	365,693	558,842	454,178	524,112	624,169	503,080	447,196	376,153	502,819
株主資本	1,990,986	2,195,539	2,014,826	2,043,559	2,079,134	2,036,963	1,953,252	2,204,566	2,502,657	2,763,145	3,169,247

*1 ビジネスイノベーション部門などのレンタル機器分を除いています

*2 米国会計基準の変更に伴い、2017年度に期間年金費用および期間退職後給付費用の表示区分の変更を遡及適用しています

▶ 11年間の財務データ

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
1株当たり金額(単位:円)^{*3}												
当社株主帰属当期純利益 ^{*4}	49.50	76.71	83.34	98.76	107.54	108.94	102.06	151.09	175.78	182.40	202.29	
株主資本 ^{*5}	1,376.97	1,517.64	1,490.82	1,556.09	1,610.87	1,658.96	1,628.89	1,838.05	2,081.43	2,296.32	2,632.12	
配当金 ^{*6}	16.67	20.00	21.67	23.33	25.00	26.67	31.67	33.33	36.67	43.33	50.00	
株価指標／財務指標												
売上高営業利益率	(単位:%)	5.3	6.7	7.3	7.4	5.1	8.6	8.1	7.5	9.1	9.6	9.3
売上高研究開発比率	(単位:%)	6.8	6.5	6.6	6.9	6.9	6.4	6.8	6.9	6.0	5.4	5.3
株主資本比率	(単位:%)	62.4	62.7	60.8	57.8	59.5	59.7	58.8	62.1	63.3	66.8	66.3
株主資本利益率(ROE)	(単位:%)	3.7	5.3	5.5	6.5	6.8	6.7	6.3	8.7	9.0	8.3	8.2
ROIC	(単位:%)	—	—	—	—	—	—	—	4.3	5.6	6.1	5.6
D/ELシオ	(単位:倍)	0.18	0.16	0.18	0.27	0.22	0.26	0.32	0.23	0.18	0.14	0.16
配当性向	(単位:%)	33.7	26.1	26.0	23.6	23.2	24.5	31.0	22.1	20.9	23.8	24.7
総還元性向	(単位:%)	33.7	26.1	154.5	61.5	58.7	96.6	72.1	22.1	20.9	23.8	24.7
期末株価	(単位:円)	2,771	4,277	4,451	4,348	4,245	5,034	5,439	6,571	7,502	6,698	3,370
株価純資産倍率(PBR) ^{*7}	(単位:倍)	0.67	0.94	1.00	0.93	0.88	1.01	1.11	1.19	1.20	0.97	1.28
株価収益率(PER) ^{*7}	(単位:倍)	18.66	18.58	17.80	14.67	13.16	15.40	17.80	14.50	14.23	12.24	16.66

*3 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。1株当たり金額については、株式分割後に換算した値で表示しています。

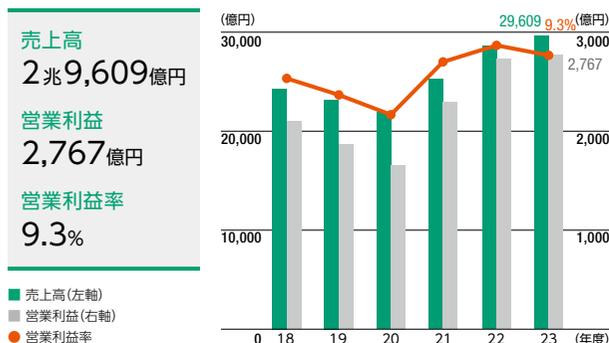
*4 1株当たりの当社株主帰属当期純利益は、各年度の加重平均発行済株式数(自己株式を除く)に基づいて算出しています

*5 1株当たりの株主資本は、各年度末現在の発行済株式数(自己株式を除く)に基づいて算出しています

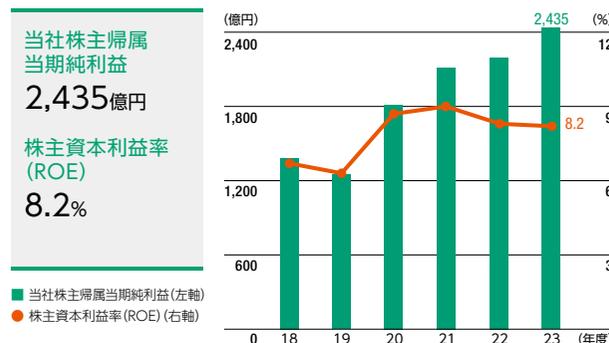
*6 1株当たりの配当金は、各年度内における1株当たりの配当金を表しています

*7 株価純資産倍率(PBR)および株価収益率(PER)は、各年度における期末株価に基づいて算出しています

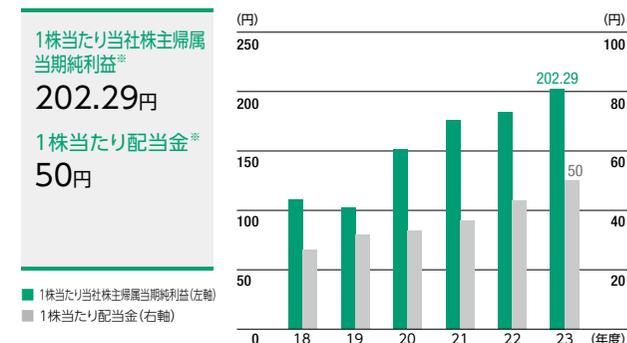
財務ハイライト



2023年度の売上高は2兆9,609億円(前年度比3.6%増)、営業利益は2,767億円(同1.3%増)で、ともに過去最高となり、メディカルシステム、イメージングの販売好調や、為替影響等が寄与し、増収増益を達成しました。

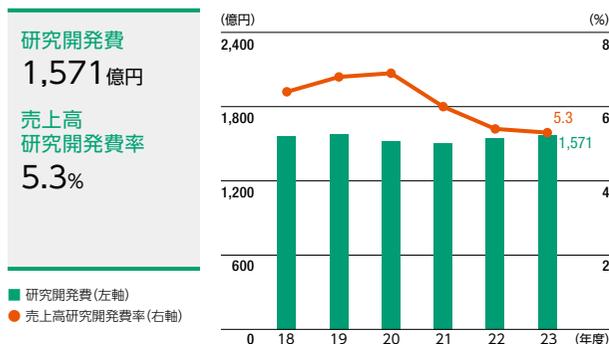


2023年度の当社株主帰属当期純利益は、過去最高の営業利益が寄与して、過去最高益の2,435億円(前年度比11%増)となりました。

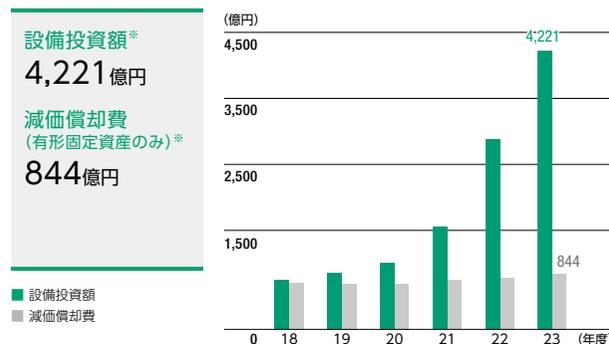


2023年度の1株当たり当社株主帰属当期純利益は、202.29円(前年度比19.89円増)となりました。1株当たり配当金は創立90周年記念配当3.3円を含む、14期連続増配となる50円、配当性向は24.7%となりました。株主還元方針については、配当を重視し、配当性向30%を目安としています。

※ 当社は2024年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。それ以前の実績については、株式分割後に換算した値で表示しています

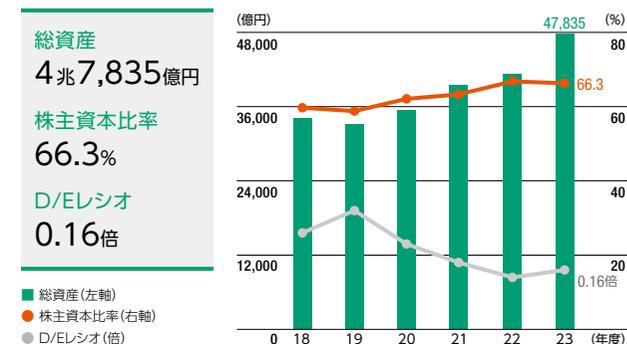


さまざまな分野でビジネスを展開している富士フイルムグループでは、幅広い基盤技術とコア技術を融合した製品設計によって、重点事業分野での研究開発を進める一方、将来を担う新規事業の創出も進めています。



バイオ医薬品市場や半導体市場の旺盛な需要を確実に取り込むべく、積極的な設備投資を行っています。2023年度は、総額4,221億円の設備投資を実施しました。

※ ビジネスイノベーションなどのレンタル機器分を除いています



2023年度の総資産は、有形固定資産の増加などにより4兆7,835億円(前年度末比15.7%増)となりました。株主資本比率は66.3%(同0.5ポイント減)となり、資本構成の安定性を維持しています。

5年間の非財務データ

詳細は、「サステナビリティレポート2024」をご覧ください。

▶ <https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/report>

★は第三者保証を受けた項目です。

	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
環境(E) ※データはグループ全体						
製品ライフサイクル全体でのGHG排出量 ^{*1}	千tCO ₂	4,498	3,663	4,216	4,083	*1 7,424
GHG直接排出量(スコープ1)	千tCO ₂	633	603	633	580	* 534
GHG間接排出量(スコープ2) マーケットベース	千tCO ₂	451	409	420	400	* 390
GHG排出量(スコープ3)	千tCO ₂	—	—	3,473	4,085	* 7,926
エネルギー使用量	TJ	23,014	21,601	22,531	20,875	18,447
再生可能エネルギー由来電力の使用量	MW/h	94,658	94,038	108,290	119,606	101,211
大気汚染物質排出量(NOx)	t/年	325	268	269	302	252
大気汚染物質排出量(SOx)	t/年	11	15	15	18	15
環境負荷物質(VOC)排出量	t	735	675	754	645	557
総取水量	百万m ³	42.7	41.3	43.3	41.9	41.8
取水原単位	千t/億円	1.84	1.92	1.67	1.46	* 1.51
廃棄物発生量 ^{*2}	千t	96.0	88.7	92.5	109.3	* 100.7
使用/リサイクル/売却された廃棄物合計	千t	72.4	66.7	72.4	91.7	79.3
リサイクル指数 ^{*3}		6.8	6.8	7.8	7.7	5.4
有価物指数 ^{*4}		0.64	0.59	0.61	0.49	0.46

※1 2023年度よりスコープ3カテゴリ1排出量は、従来の製品に投入する原材料・部品に加えて、当社が購入した委託製造品、包装材、購入したサービス、販売目的で購入した商品に由来する排出量についても算定対象としました。そのため前年度と比較して排出量は増加しています。

※2 廃棄物処理外部委託とサイト内で単焼却または単純理め立てした量

※3 リサイクル指数=(再資源化量+有価物化量)/単純処分量

※4 有価物指数=有価物化量/再資源化量。有価物量は第三者に有償で売却した量

※5 平均年間給与は、賞とおよび基準外賃金を含む。富士フィルムホールディングス単体

※6 当該年度(4月1日から翌年3月31日まで)に新たに休暇を取得した人数

※7 [積立有給休暇(家族介護)][午前半日積休(家族介護)][午後半日積休(家族介護)][家族介護休暇][1日介護休業]の各制度利用者を掲載

※8 復職後3年後定着率= $\frac{\text{前々年度の退職後の復職者のうち当年度末日まで在籍している正社員数}}{\text{前々年度退職からの復職者数}}$

※9 [積立有給休暇(子のヘルスケア)][午前半日積休(子のヘルスケア)][午後半日積休(子のヘルスケア)][子の看護休暇]の各制度利用者を掲載。育児休暇に準じる制度として、上記のほか配偶者出産時取得可能な特別付与(最大5日)があり、同制度の利用者を掲載

※10 [積立有給休暇(ボランティア活動)]を取得した人数を掲載

※11 離職率=(自然退職+自己都合退職)÷前年度末日の富士フィルム(株)正社員数[定年退職、シニア転身は離職に含まない]

※12 離職率=(自然退職+自己都合退職)÷前年度末日の富士フィルム(株)正社員数+退職者数[分子の離職には定年退職、移籍、シニア転身は含まない]

※13 離職率=(自然退職+自己都合退職)÷前年度末日の富士フィルムビジネスインベション(株)社員数+退職者数[分子の離職には定年退職、移籍、シニア転身は含まない]

※14 離職率=自己都合退職÷当該年度末日の富士フィルム(株)正社員数+退職者数[分子の離職には定年退職、移籍、シニア転身は含まない]

※15 離職率=自己都合退職÷当該年度末日の富士フィルムビジネスインベション(株)社員数+退職者数[分子の離職には定年退職、移籍、シニア転身は含まない]

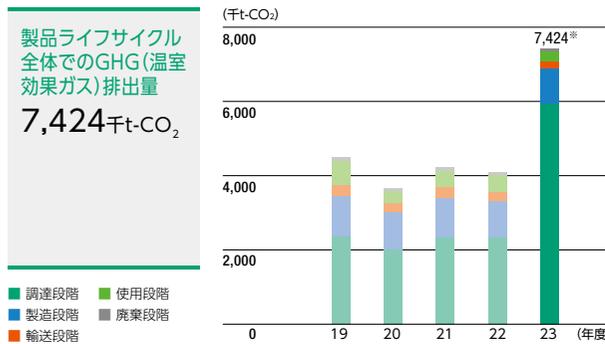
※16 TRIR(総災害度数率):100万時間あたり負傷者数(不労災+休業-死亡労災)

※17 2021年度は富士フィルムホールディングスが展開する教育研修および各事業部が主体となり実施する教育研修の合算。2020年度までは富士フィルムホールディングスが展開する教育研修のみを集計

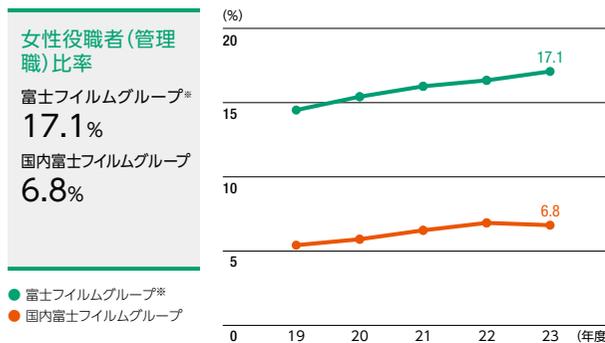
※18 2021年5月1日付で旧富士ゼロックスの国内営業部門を富士フィルムビジネスインベションジャパンに吸収分割

	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
社会(S)						
従業員数	名	73,906	73,275	75,474	73,878	* 72,254
うち女性従業員比率	%	27.8	28.5	30.0	30.0	30.5
基幹ポストにおける外国籍従業員の比率	%	26.0	27.1	27.7	27.8	* 28.6
役職者(管理職)に占める女性従業員比率	%	14.5	15.4	16.1	16.5	* 17.1
平均年間給与 ^{*5}	円	10,028,486	9,701,348	10,170,102	10,326,556	10,742,168
正規雇用労働者の男女の賃金の差異						
富士フィルム	%	—	—	—	101.1(管理職) 79.6(一般)	98.3(管理職) 79.6(一般)
富士フィルムビジネスインベション	%	—	—	—	98.8(管理職) 82.1(一般)	98.1(管理職) 85.3(一般)
障がい者雇用率	%	2.42	2.48	2.47	2.45	2.52
介護休暇取得者数 ^{*6}						
富士フィルム	名	38 (男24,女14)	28 (男18,女10)	30 (男24,女6)	42 (男30,女12)	33 (男25,女8)
富士フィルムビジネスインベション ^{*7}	名	98 (男82,女16)	70 (男55,女15)	*18 59 (男47,女12)	59 (男52,女7)	64 (男53,女11)
介護休暇復職後3年後定着率 ^{*8}						
富士フィルム	%	—	100(4/4)	100(2/2)	100(1/1)	* 100(1/1)
富士フィルムビジネスインベション	%	—	20.0(1/5)	100(5/5)	100(1/1)	* 50(1/2)
育児休暇取得者数 ^{*6}						
富士フィルム	名	24 (男18,女6)	21 (男16,女5)	73 (男48,女25)	52 (男35,女17)	46 (男41,女5)
富士フィルムビジネスインベション ^{*9}	名	503 (男332,女171)	396 (男244,女152)	*18 298 (男202,女96)	272 (男241,女31)	266 (男194,女72)
育児休暇復職後3年後定着率 ^{*8}						
富士フィルム	%	—	90.5(38/42)	95.1(39/41)	89.4(42/47)	* 83.7(41/49)
富士フィルムビジネスインベション	%	—	91.3(73/80)	86.0(92/107)	70.3(78/111)	* 97.1(68/70)
男性労働者の育児休業取得率						
富士フィルム	%	—	—	—	52.0	66.7
富士フィルムビジネスインベション	%	—	—	—	82.2	83.5
ボランティア休暇取得者数 ^{*6}						
富士フィルム	名	1(男1,女0)	0(男0,女0)	2(男1,女1)	0(男0,女0)	0(男0,女0)
富士フィルムビジネスインベション ^{*10}	名	21(男12,女9)	2(男1,女1)	2(男1,女1)	0(男0,女0)	1(男1,女0)
離職率						
富士フィルム	%	*11 1.22	*12 1.42	*12 1.72	*14 1.81	*14 1.81
富士フィルムビジネスインベション	%	—	*13 3.49	*13,18 3.55	*15 4.89	*15 1.93
TRIR ^{*16}		2.10	2.34	2.07	2.70	2.24
研修費用	円	—	約5.5億	約17億	約31億	約42億
従業員一人当たり研修費 ^{*17}	円	—	7,552	約2万	約3.7万	約5.2万

非財務ハイライト

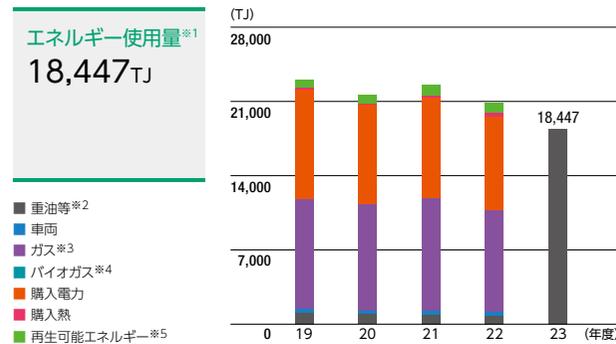


※ 2030年度をゴールとするGHG排出量削減目標の達成に向けて取り組む中、2023年度よりスコープ3カテゴリ1排出量は、従来の製品に投入する原材料・部品に加えて、当社が購入した委託製造品、包装材、購入したサービス、販売目的で購入した商品に由来する排出量についても算定対象としました。そのため前年度と比較して排出量は増加しています。当社製品・サービスの提供を通じた社会でのGHG排出削減への貢献も進めています。



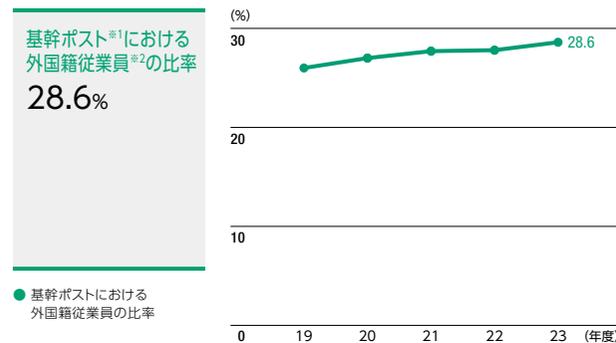
[Sustainable Value Plan 2030]では、多様な従業員が活躍できるための仕組みや職場づくりを重点課題としています。女性活躍推進においては、役職者に占める女性比率を2030年度末までに富士フィルムグループで25%とする目標を掲げています。富士フィルム、富士フィルムビジネスイノベーションは、女性活躍推進法に基づき、それぞれ2021年4月~2026年3月を対象とする女性活躍促進の5カ年行動計画を策定し、公表しました。

※ 役職者の区分はグループ会社ごとの定義に基づく



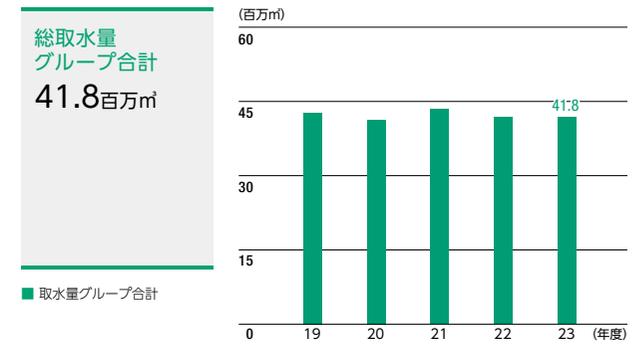
グループ横断でエネルギー効率の最大化や、エネルギー調達におけるCO₂排出削減のための施策を検討するとともに、これら施策のグループ内への積極的な展開を図っています。2030年度までに購入電力の50%、2040年までに100%を再生可能エネルギー由来の電力に転換することなどにより、当社が使用する全てのエネルギーでCO₂排出量ゼロを目指します。

※1 数値の取り扱いにより、合計が表示数値の合算と必ずしも一致していない場合があります
※2 A重油、C重油、灯油、軽油、ガソリンの合計 ※3 天然ガス、液化天然ガス(LNG)、都市ガス、プロパン、液化石油ガス(LPG)の合計
※4 埋地メタンガス ※5 自家設置設備による発電および購入電力の合計



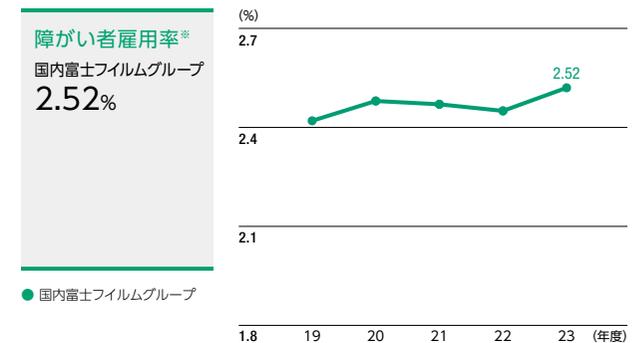
優秀な外国籍従業員の登用を目標に置き、富士フィルムグループの基幹ポストにおける外国籍従業員の比率を2030年度目標35%としています。国籍によらず、それぞれの市場において当社の事業をリードするにふさわしい人材の登用を進めています。

※1 基幹ポスト:主要子会社の社長、主要事業の事業部長などを基幹ポストに設定。グローバルに全社を見渡し、グループ会社の主要ポストに、グローバルビジネスの成長を加速していくために今後ますます重要となる事業や本社機能における主要ポストも加えて再整理し、当社の基幹ポストとして明確化しています
※2 日本国籍を持たない従業員



写真フィルムの製造において、清浄な水を多く使用してきたことから、早くから取水量の削減、水のリサイクル利用に取り組んできました。2030年度までに富士フィルムグループによる水の投入量を30%削減*することを目標としています。工場のある熊本県で地域住民の方々とともに白川上流域での水源かん養林整備(植林)を行うなど、長年にわたり水源保護にも努めています。

※ 2013年度比



国内富士フィルムグループでは、2016年度から継続して法定以上の障がい者雇用率を達成しており、今後も法定以上の雇用率の維持を目標としています。外部専門機関(障がい者職業センター)も交えて障がい者に適性のある業務の創出や支援機関と連携した定着支援を実施するとともに、知的/精神障がい者が活躍できる職場の新規立ち上げを継続しました。

※ 2018年度より富士フィルムホールディングス株式会社を事業主とするグループ算定特例によるグループ全体での実績を開示

社外からの評価

格付け機関の評価 (2024年7月5日時点)

格付け機関	格付け	
ムーディーズ	長期	A2安定的
	短期	—
スタンダード&プアーズ	長期	A+安定的
	短期	A-1
格付投資情報センター (R&I)	長期	AA
	短期	a-1+

注) —:格付け取得せず

SRI指標構成銘柄への組み入れ



FTSE4Good

FTSE4Good Global Index



FTSE Blossom
Japan

FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

FTSE Blossom Japan Sector
Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数



S&P/JPX
カーボン・エフィシエント指数

外部機関からの評価



CDP気候変動
Aリスト



CDPサプライヤー・
エンゲージメント・リーダー



JPXプライム150



JPX日経インデックス400



SX銘柄2024

SX銘柄



DX認定



DX注目企業2024
Digital Transformation

DX注目企業2024



2024
健康経営銘柄
Health and Productivity

健康経営銘柄2024



2024
健康経営優良法人
ホワイト500

健康経営優良法人2024



2024
Sompo Sustainability Index

SOMPO
サステナビリティ・インデックス



iSTOXX MUTB ジャパン
プラチナキャリア 150 インデックス



「第7回 日経スマートワーク経営調査」
5星



NIKKEI SDGs 経営調査2023



スポーツエールカンパニー2024

各指標についての詳細は、当社Webサイトをご覧ください。
▶ <https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/evaluation>

会社概要

会社概要 (2024年3月31日現在)

会社名	富士フイルムホールディングス株式会社
本社	〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号
設立	1934年1月20日
資本金	40,363百万円
連結従業員数	72,254名
連結子会社数	272社
IR問い合わせ先	富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号 電話 03-6271-1111(大代表)
ウェブサイト	https://holdings.fujifilm.com/ja

株式情報 (2024年3月31日現在)

●上場証券取引所

東京

●株主名簿管理人

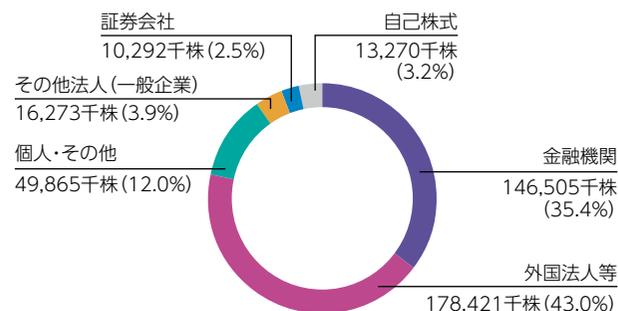
三井住友信託銀行株式会社
〒100-8233
東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

●株式所有者分布

株主数	126,824名
発行済株式総数	414,625,728株

注1 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。これにより発行済株式の総数は1,243,877,184株となりました。

注2 上記株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年4月1日付で当社定款第6条に定める発行可能株式総数を2,400,000,000株に変更しました。



●大株主の状況

株主名	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18.1%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6.8%
日本生命保険相互会社	3.5%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1.9%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1.8%
GOVERNMENT OF NORWAY	1.4%
三井住友海上火災保険株式会社	1.3%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	1.2%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1.1%
株式会社ダイセル	1.1%

注1 当社は自己株式(13,269,764株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
注2 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数(401,355,964株)を基準に算出しております。
注3 持株数・持株比率は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

富士フイルムグループの組織構造 (2024年9月29日時点)



各連結子会社についての詳細は、当社Webサイトをご覧ください。▶ <https://holdings.fujifilm.com/ja/about/group>

第三者保証

富士フィルムホールディングスは、「統合報告書 2024」に開示する情報の客観性、正確性を高めるため、掲載する下記の情報に関して、SGSジャパン株式会社による第三者保証を受けています。

第三者保証の対象項目

環境データ

- Scope1, 2
(エネルギー起因)およびエネルギー消費量 (P28, P112, P113)
- Scope1
(非エネルギー起因CO₂およびHFC, PFC) (P28, P112, P113)
- Scope3
(カテゴリー1, 11) (P112)
- 取水量 (P28, P112, P113)
- 廃棄物発生量 (P112)

人事労務データ

- 正社員の状況：従業員の構成 (P28, P112, P116)
- 基幹ポストに占める外国籍従業員の比率 (P112, P113)
- 管理職に占める女性の割合 (P112, P113)
- 障がい者雇用率 (P112, P113)
- 育児休職・介護休職からの復職後の定着率の状況 (P112)

富士フィルムホールディングスサステナビリティレポート2024の第三者保証報告書は、当社Webサイトをご覧ください。

<https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/evaluation>

検証項目の詳細(検証の範囲、実績、定義を含む補足説明など)は、サステナビリティレポート2024の各項目をご覧ください。

<https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/report/2024>

管掌役員保証



「統合報告書2024」の発行にあたって

吉澤 ちさと

富士フィルムホールディングス株式会社
取締役 執行役員
コーポレートコミュニケーション部長 兼 ESG推進部長

当社は本年1月に創立90周年を迎え、グループパーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」を策定しました。当社の全ての事業に携わる従業員が、このパーパスを新たな旗印として、アスピレーション(志)を持って事業活動を通じた社会の持続可能な発展に貢献していきます。

統合報告書の発行は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、当社の中長期的な価値創造についてお伝えし、また、それを契機として相互にコミュニケーションを持たせていただく重要な機会となる、と考えています。発行に際して毎回いただくご意見を真摯に受け止め、それを紙面に反映し、内容を充実させる取り組みを続けています。

本報告書では、イノベーションで価値を創造し続ける富士フィルムグループが、「社会にどのようなインパクトをもたらし得るか」という問いを繰り返しながら、制作を進めてまいりました。2030年度をターゲットとする長期CSR計画「Sustainable Value Plan 2030(SVP2030)」を達成するための、具体的なアクションプランである新たな中期経営計画「VISION2030」に込めた決意や戦略を、本報告書冒頭でCEO、CFOが語っています。続いて、当社の価値の源泉に触れながら、中長期のリスク・機会のマネジメントのあり方や、SVP2030へのロードマップを詳述しています。

後半では、具体的な事業戦略を取り上げ、特に株主・投資家の皆さまからの関心が高いバイオCDMO事業の特集を設けました。そして、こうした事業活動を支える非財務資本やリスクマネジメントを含むガバナンス体制を紹介しています。

私は、制作の統括責任を担うコーポレートコミュニケーション部長として、統合報告書の作成プロセスが正当であり、記載内容が正確であることをここに表明いたします。本報告書が、株主・投資家をはじめ、全てのステークホルダーの皆さまに、当社の価値創造の取り組みをより深くご理解いただく手助けとなることを願っています。今後とも、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。